

# CAT<sup>®</sup> CLUB

2021

NO.

112



お客様見聞録 >> *File 13* 金杉建設株式会社

一歩進んだICT活用に挑戦し、  
建設業界のDXをリードする。

CAT<sup>®</sup>

# Team Caterpillar

Machine Sales Rep.



47都道府県の中でも建設機械の出荷台数が北海道に次いで多い埼玉県は、各メーカーがシェアを伸ばそうとしのぎを削り合う激戦区。  
入社5年目を迎えたマシンセールスの野田享威は、さいたま営業所の管轄内でキャタピラーのシェアが最も高いエリアを任されている。「先輩方が築いてきた信頼関係を守るだけでなく、新しいお客様を増やしていくために、どうすれば喜んでいただけるかということをいつも考えて行動しています」ソフトボールを愛し、高校の部活ではキャプテンとしてチームを引っ張ったという野田は、その責任感の強さで、お客様の心をしっかりキャッチしている。

マシンセールスという仕事をする上で、心に刻み付けておかなければならない多くのことを、上司や先輩の言葉から学びました。

中でも特に私の意識を変えてくれたのは、「セールスは注文書もらうことがゴールだが、お客様は納品されてからがスタートだ」という言葉です。お届けした機械をお客様が使い続けてくださっている間、その責任はずっと私に掛かっているのだという意識を持って対応するようにしています。

「機械トラブルがあったら最初に行くこと」もその一つです。トラブルやミスを100%避けることはできませんが、失敗したときにどういう態度を取るか。お客様から信頼を得ることができるかどうかは、そこで決まると思います。納入した機械に初期不良が発生した場合などは、何を差し置いてもトラブルシュートの現場に立ち合い、問題が解決するまで見届けるようにしています。信頼をつなぎとめるためには、誠意を「行動」で示すしかありません。

5年のキャリアの中で数え切れないほどの失敗を重ねてきましたが、自分なりに誠意を尽くして向き合ってきました。そうした積み重ねをお客様も汲んでくださり、最近は相談相手として少しずつ認めていただけるようになってきています。

これまでは先輩方が築いてきたお客様との関係を守り、つないでいくことで精一杯でしたが、今後は新規のお客様を増やしていくことにも力を注いでいかなければなりません。名刺をお渡しするチャンスをいただいたときに、製品情報だけでなく、ファイナンスのお得なキャンペーン、レンタルストアの入庫状況から、その日のニュース、世間話まで、お客様に興味を持っていただけ的话题を提供できるよう、日頃から幅広い情報の収集を心掛けています。

セールスは正解がない仕事。お客様ごと、商談ごとに毎回異なるケースの中で、最も喜んでいただける答えを見つけ出していくスキルが求められます。ご提案の選択肢を広げるために、これからも前向きに行動し、経験を積んでいきたいと思っています。

「セールスの責任をつねに心に留め、お客様に喜ばれる行動をとりたい」



日本キャタピラー  
さいたま営業所

野田 享威  
Yukitake Noda

LET'S DO THE WORK.™



# Technology Showcase

## 次なる100年の躍進へ トルコを導く 高速道路建設プロジェクト。



トルコ北西部を曲がりくねって走るゲブゼ-イズミル高速道路。その建設は、官民パートナーシップを通じて進められた同国初にして史上最大規模の道路プロジェクトであり、トルコ国内およびイタリアの建設会社6社からなるNOMAYG-JVがBOT（一括事業請負後譲渡）モデルで受注した。

イスタンブールの東方50kmに位置するゲブゼ市を起点として、イズミット湾をオスマン・ガーズィー橋で横断、その後、ブルサリング高速道路に接続してエーゲ海に面する港湾都市イズミルへと至る408kmの距離をつなぐ。「この高速道路は、トルコの経済発展に大きく貢献してくれるでしょう」

そう述べるのは、建設工事と吊橋を担当する請負業者Nömayg Istanbul社でコンサルタント（電気技師）を務めるAhmet Erhan Titrek氏。「ゲブゼとイズミルを結ぶ既存ルートは540kmで、これまでは移動に8～10時間掛かっていましたが、この道路の開通によって距離は120km短くなり、移動時間は約3.5～4時間に短縮されました。さらに、燃料消費量や交通事故の発生件数も減少し、環境条件の改善も見え始めています」

同氏はまた、イズミット湾を渡る時間も、従来フェリーで45～60分、国道では1時間20分要していたのに対し、オスマン・ガーズィー橋のおかげで6分程度になったと語る。

オスマン・ガーズィー橋は、全長2,682m、世界第4位の中央径間長(1,550m)を誇る鋼3径間連続吊橋で、「イズミット湾横断橋」とも呼ばれる。

ゲブゼ-イズミル高速道路の建設は、2つのセクション(第1セクション:ゲブゼ-ブルサ間/

第2セクション:ブルサ-イズミル間)に分けて行われた。400kmを超える距離を6車線の道路で結ぶこのプロジェクトにおいて最大の課題となったのは、約860万tのアスファルトを製造することだった。

「プロジェクトのそれぞれの段階で、必要な現場に必要な量のアスファルトを供給するための電力源として、Cat発電機を導入しました。私たちがプロジェクトを完遂するまでの間に製造したアスファルトは、1日平均約1万tに上ります。さらに開通後、高速道路の運営管理に欠かせないあらゆる電力——たとえば、オスマン・ガーズィー橋の予備発電、3つのトンネル、ジャンクション、サービスエリア、駐車場、料金精算システム、セキュリティシステム、ITS（高度道路交通システム）など各施設や機器設備の電源・照明に使用される——を賄うために200～2,500KVAクラスのCat発電機53基を調達しました」(Ahmet Erhan Titrek氏)

発電機を供給したCatディーラー BorusanのエリアセールスマネージャであるAlptekin Ercanは次のように語る。「競争は激しいものでしたが、技術的な優位性や幅広いサービスネットワークなどが高い評価を得て、電力システムの構築をお手伝いさせていただきました。交通・輸送の動脈ともいえるこの道路を確実かつ安全に運営するため、私たちは先進の発電機選択プログラムSpecSizer®を用いてそれぞれの施設に最適な発電機の配置を提案しました」

「Cat発電機を選んだことは賢明な決断だったと思います。Borusanはパートナーとして私たちのニーズを正確に掴み、最高の電力ソリューションを提供してくれました」(Ahmet Erhan Titrek氏)

※使用する電力(負荷)から発電機の大きさ(容量)を選定するソフトウェアです。



写真左: Nömayg Istanbul社でコンサルタント(電気技師)を務めるAhmet Erhan Titrek氏。  
写真右: 電力ソリューションの提案を担当したCatディーラー BorusanのAlptekin Ercanエリアセールスマネージャ。





写真右上：最先端の技術や機器を積極的に導入し、DXに取り組まれている3代目社長の吉川祐介様。  
写真左下：第1回「i-Construction大賞」優秀賞の受賞記念に贈られた盾(左)とICTアドバイザー認定書(右)。



金杉建設株式会社

代 表 者：吉川 祐介  
 本社所在地：埼玉県春日部市南一丁目6番9号  
 設 立：1950年  
 従 業 員 数：80名 \*関連会社含む  
 事 業 内 容：総合建設業、開発企画、一般土木  
 URL：http://www.kanasugi.co.jp/

お客様  
見聞録

File 13

金杉建設株式会社



## 一歩進んだICT活用に挑戦し、建設業界のDXをリードする。

金杉建設株式会社様は、1950年の設立以来、70年以上にわたって河川、道路、橋梁、上下水道、ニュータウン開発などの公共工事を中心に事業を展開し、地元・埼玉県と共に歩んできました。  
 近年は、他社に先駆けてICTの全面的な活用を推進し、調査・測量からデータの作成・分析、施工、検査・管理まで一貫した内製化を実現。3代目社長・吉川祐介様の指揮の下、最先端のデジタル技術を駆使して建設現場を変革するDX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組んでいます。

### 創業の地を社名に、地域社会の成長と安心を支える。

東京近郊をぐるりと囲むように、神奈川、東京、埼玉、千葉を結ぶJR武蔵野線。もともとは貨物線として開業しましたが、首都圏への人口集中に伴って旅客列車の運行が増え、近年、沿線ではニュータウン開発プロジェクトが進んでいます。埼玉県吉川美南駅東口周辺の区画整理事業もその一つ。田園地帯だった約60haの敷地を魅力的な生活空間に生まれ変わらせるための造成工事が始まっています。その工事を担っているのが金杉建設様。吉川祐介社長の御祖父様が1950年に社名の由来でもある金杉村(現・松伏町)で創業してから約70年間、総合建設会社として地域に根差した活動を展開してきました。  
 「祖父の時代から公共工事を中心として、いかにいい仕事をして地元へ貢献し、地域社会と足並みを揃えて成長・発展していくかということを考えてやっています。主な施工実績としては、荒川西区築堤工事、古岡田川河道掘削工事、圏央道島名地区調整池工

事、圏央道道路盛土工事、最近では草加柿木地区産業団地の造成や中川下水道事務所のタンクの基礎工事なども担当させていただきました。また、地震や台風、集中豪雨、大雪などによる被害が出たときには、緊急出動して地域の安全・安心をお守りする役目も担っています。災害時の復旧活動をお手伝いすることは、国土交通省や自治体から公共工事をいただくことで存続してきた当社の使命だと思っています」

吉川社長の言葉を裏付けるように、金杉建設様はこれまで埼玉県内で自然災害が発生したときはもちろん、茨城が地震、千葉が台風の被害に見舞われた際も現地へ車両と作業員を派遣し、復旧活動をサポート。資材センターには万一の場合に備え、除雪用ブレードと警光灯を装備したCat 907Mホイールローダ(道路維持作業車)やビニールシートなどの各種設備や資材を準備しています。  
 大学で土木工学を専攻し、修士課程まで進まれた吉川社長は、先進技術の導入による現場の変革に積極的に取り組み、i-Constructionの全プロセスを内製化する体制をいち早く確立。2017年の第1回「i-Construction大賞」では優秀賞を受賞しています。



3D CADで施工設計を行うi-Construction推進室の小侯陽平室長。

「i-Constructionを初めて導入した築堤工事で、ICT活用の有効性に確かな手応えを感じ、調査・測量からデータの作成・分析、施工、検査・管理まで一貫した内製化を推し進めました。『土木は、経験工学』と言われるように、日々の作業を通して得た経験をノウハウとして生かし、より効率的で、品質が高く、安全なやり方をいかに見つけていくかがカギとなります。i-Constructionも同様に、必要な重機やデジタル機器を自社で保有し、社員が実際に運用して知見やデータを資産として残すことができなければ、当社の今後の成長にはつながりません」

**メーカーに丸投げのi-Constructionでは、  
自社に資産が残らない。**

施工以外のプロセスやデータ管理をメーカーにまるごとアウトソーシングしてしまうのではなく、内製化することでノウハウを自社に蓄え、新たなICT活用法を見つけ出していく。金杉建設様のそうした方針と、ユーザーが主体的にシステムやデータを運用・管理できるキャタピラーのi-Constructionはマッチしている、と吉川社長は語ります。

「2、3年前、建設・測量生産性向上展に招かれて重役の方から話を伺いましたが、キャタピラーは自社グループのテクノロジーの枠にユーザーを囲い込まずオープンソースでやりますという意志を感じました。当社は各メーカーの重機を保有しており、測量関係などの機器も、最先端の製品、面白い機能を搭載した製品があれば、ブランドにこだわらずどんどん使っていきたいと思っています。実際には互換性や連携の面での障壁もありますが、何とか解決しようと向き合ってくれる柔軟性がキャタピラーにはあります。流石、グローバルに事業を展開している開かれた考え方の会社だなと思います。320に代表される“次世代型”と呼ばれる製品も、先進的な上に拡張性が考えられていて感銘を受けました。2Dマシンガイダンスから3Dマシンコントロールへ必要に応じてステップアップでき、電子制御を取り入れているのでリモート操作(Catコマンド)によるICT施工にも容易に対応できる。また、これまでの機械にはなかったユニークな機構を搭載した思い切りの良さにも共感しました。特にパイロードは現場のオペレータに重宝されています」



利根川左岸栄西堤防整備工事の現場。320が3D施工で整形した堤防法面を張芝緑化すれば工事は完了です。



利根川左岸栄西堤防整備工事の現場監督を務められている松崎様(左)。\*右は日本キャタピラー さいたま営業所の佐藤部長

金杉建設様の保有する320は、取材時には利根川左岸栄西堤防整備工事に投入されていました。現場監督を務められている松崎様(左)に話を伺うと、こちらの現場では、施工エリア約880m(約4万4,000m<sup>2</sup>)に及ぶ堤防の法面整形を丁張りは1本も掛けずに3D施工で行い、2ヵ月で作業を終えたそうです。「3D施工を監督したのは今回が初めてだったのですが、施工スピードそのものより、丁張りや出来形チェックといった作業前後のプロセスを大幅に省力化できる点に大きなメリットを感じました。毎日始業前に運転席のモニターで基準点の確認を行い、誤差を調整すれば、他の人員を配置せずにオペレータ1人で作業を行うことができます。当然、機械周辺に作業員が立ち入ることにもなくなるので安全管理の面でも優れています。これだけ規模の大きな現



ニュータウン開発の盛土工事に活躍する次世代型D5ブルドーザ。右奥に見えるのがJR武蔵野線吉川美南駅。



豪雪時の緊急対応に備えて資材センターで出番を待つ907Mホイールローダ(道路維持作業車)。

場であるにも関わらず、私を含めて3人でカバーできました」  
埼玉県内で発注される公共工事のうち、ICT施工が受注条件となる案件の割合は約6割程度だそうですが、金杉建設様はICT施工の実施が条件とならない工事や付帯作業などにもICTをできるかぎり取り入れていく提案を行っているといいます。

**ICT化のトップランナーとして  
一歩進んだDXを追求していく。**

金杉建設様では、ICTやデジタル関係の技術展が開催されると、関係部署の社員はもとより吉川社長自らも足を運び、情報収集に努められているといいます。「今はICT化のトップ集団を走っていますが、イノベーションのスピードは凄まじく、気を緩めると、あっという間に取り残されてしまいます」

最新の技術や機器にアンテナを張り、他社に先駆けて取り入れて、建設現場の変革をリードしていく。金杉建設様のそうした挑戦を担っているのがi-Construction推進室です。VR(バーチャリアリティ)技術を取り入れた設計検証システム、水面下の地形や様子を可視化できるマルチビームソナー搭載のポートといったICT機材やシステムを次々と実務に導入し、現在もバギー車にスキャナを取り付けて測量を行うなど、いくつものICT活用アイデ

アの実用化にトライされています。  
金杉建設様は、社内におけるICTの活用拡大を推進する一方で、官民研究開発投資拡大プログラム「PRISM」への参加やICTアドバイザーへの登録を通じ、次の時代の建設業界を見据えたデジタル技術の開発・実用化、同業者へのICT施工の普及促進にも力を注がれています。「短期的に見れば、ICTの活用法やノウハウを自社で独占し、他社が付いてこれられないようにした方が受注率も利益率も上がるだろうと思います。しかし、それよりもICTをみんなが使えるように普及させ、より少ない労力でより良い品質の工事をできるようになっていく方が、業界全体の活性化につながり、結果として当社が得るものも大きくなるはず。私たちがi-Construction大賞をいただいたのも、トップランナーとして建設業界のDXをリードし、普及にも協力して欲しいという意味が込められていると考えています。国土交通省が2016年を『生産性革命元年』と位置づけて本格的なi-Constructionの推進を打ち出してから5年、建設業界のデジタル変革はまだ一歩踏み出したばかりです。キャタピラーにも、建設機械の歴史をつくってきたパイオニアとして、業界の常識に一石を投じるようなユニークな製品をどんどん世に送り出して欲しいと思います」



## キャタピラーファイナンス

サービス・メンテナンスのお支払いができる  
コマーシャルアカウントのご紹介

### コマーシャルアカウントとは

コマーシャルアカウントは、日本キャタピラー販売店での  
部品・サービス・レンタル・業務関連商品のお取引に  
1回もしくは分割でのお支払いが可能で、「お客様だけの決済口座」です。  
年会費は無料です。



### コマーシャルアカウント3つのサービス

#### 口座振替が 便利

振込の時間と手間が省け、手数料の要らない口座振替でのお支払いが便利です。  
引落月になるとご利用明細にて事前にご案内いたします。

#### 分割払いも可能で 安心

最長36回まで(レンタル料は3回まで)の分割のお支払いを選択いただくことが  
可能です。キャッシュフローに合わせて、月々のお支払額をお決めいただけます。

#### ポイントサービスで お得

ご利用額の1%をポイント還元。  
会員カタログよりお好みのアイテムと交換いただけます。



### 今なら、分割払い無金利の特別プログラム!

- 部品・サービスのお支払いは最大12ヵ月無金利
- リビルド修理のお支払いは最大24ヵ月無金利

### こんなときにも分割払いをご利用いただけます!

- 足回り、シリンダオーバーホールなどの高額修理
- リビルド修理やマイリペアのお支払い
- 部品のまとめ買い

#### ● お問い合わせ

キャタピラーファイナンス株式会社  
コマーシャルアカウント・サポートセンター  
フリーダイヤル ☎ 0800-919-1860

ご不明な点がございましたら、日本キャタピラー販売店、  
キャタピラーファイナンスの担当者または右記まで  
お問い合わせください。

## Good Support! Good Work!



### 車両のメンテナンス 油圧ショベルの日常点検

日頃から車両の点検をこまめに実施することで、  
不具合の兆候の早期発見や、突発的なトラブルの予防が可能になり、  
予期せぬマシンダウンによる操業停止、修理費の発生といったリスクを軽減することができます。  
特にエンジンオイルや作動油のチェックを怠ると、出力低下を招いて生産性に影響を及ぼすだけでなく、  
内部部品の摩耗・損傷により高額なコンポーネントを破損させるおそれもあるため、日常点検は非常に重要です。  
正しい日常点検を実施することで、車両の状態を良好に維持するように心掛け、維持管理費用を最小限に抑えましょう。

日常点検を行うときは、正しい駐機姿勢で!  
日常点検は、平坦な場所でブーム、アーム、バケットを直角にした姿勢で行いましょう。  
このような姿勢でないと、エンジンオイルレベルや作動油レベルがきちんとチェックできません。

#### オイル、フィルタの点検

##### 1 エンジンオイル

- エンジンオイル量は適量ですか?



##### 2 作動油

- 作動油量は適量ですか?
- オイルの汚れはありませんか?



##### 3 エアフィルタ

- 定期的に清掃、交換していますか?
- マフラーから黒煙は出ていませんか?



#### 作業装置、足回りの点検

##### 4 GET\*1

- バケット本体に亀裂や過度の摩耗はありませんか?
- ツースの摩耗や脱落はありませんか?

##### 5 リンケージ

- 定期的にグリスアップを行っていますか?

##### 6 UC\*2

- 鉄ゲタの張りはアイドルとキャリアローラのたるみが50mm前後になっていますか?
- ゴムクローラの張りはクローラを持ち上げた状態でトラックローラとの隙間が10~15mmになっていますか?

\*1 Ground Engaging Tools \*2 Under Carriage

#### 油圧システムの点検

##### 7 油圧シリンダ

- 油漏れはありませんか?
- ロッドの傷はありませんか?



##### 8 油圧ホース

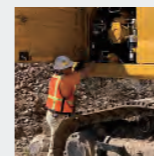
- 油漏れはありませんか?
- 傷、すりきれ、ふくれなどはありませんか?



### Cat油圧ショベルはお客様が日常点検しやすく設計されています。

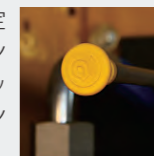
#### グラウンドレベルメンテナンス

日常のメンテナンスが地上から迅速かつ安全、容易に実施できます。



#### カラーコーディング

ISOシンボルにより、油種を特定しやすくしています。例えばエンジンオイル関係は黄色いキャップで、エンジンオイルのISOシンボルが表示されています。



#### グリス供給ポートの位置

作業機周り、シリンダのグリス供給ポートは、供給しやすい角度で配置されており、地上またはサービスステップから容易にアクセスできます。



日常点検で異常があるかも知れないと感じた場合は、すぐに最寄りの販売店にご相談ください。

# 最新テクノロジーを標準装備して登場。 次世代油圧ショベルCat® 374/395



374	
運転質量	74,700kg
標準バケット容量	3.3m³
エンジン定格出力	362kW

395	
運転質量	94,300kg
標準バケット容量	4.6m³
エンジン定格出力	405kW

## 標準装備の最新テクノロジー

### Catペイロード計量システム

バケット掘削量とトラック積み量をタイムリーに計量・記録するシステムにより現場の生産管理を容易にし、過積載や過少積載の予防に貢献。データはUSBでダウンロード可能なため、パソコンなどでの再編集も容易です。



### ●Catグレード

標準モニターまたはレバーボタンで容易に設定可能な任意の基準点とバケット刃先の高さや距離をガイダンス。勾配やオフセット量を入力することで仮想設計面をモニターや音で確認することができ、高精度な仕上げ作業に貢献します。

### ●オートハンマーストップ

ブレードや車体へのダメージが著しい長時間打撃を自動制御。  
※単動配管でワークツール設定を行った場合に作動

### ●E-フェンス機能

標準モニターでの寸法入力、または作業機を危険区域付近に合わせて機能をONにすることにより、作業機の上下動や前方向と旋回時の作業範囲を制限する機能を標準装備。現場の接触災害リスクを大幅に低減します。

## ■ 耐久性 最大 2 倍

### 各構造物の耐久性が向上。より強靱なマシンへ

アーム、ブーム、スイングフレーム、カーボディ、トラックリンク、シリンダ、作業機板厚の耐久強化。ボトムガード・スイベルガードを標準装備し、耐久性2倍を実現。

## ■ 生産性 最大 10% 向上

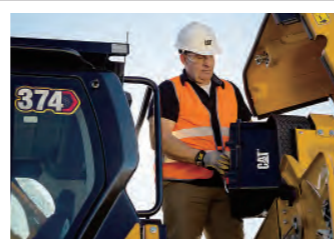
### 作業効率の最適化。お客様の期待を超える生産性

独立式の旋回ポンプ・モータの採用と旋回トルク向上により、積み込み作業のサイクルタイムを向上。ブーム・アーム・バケットのすべてが2ポンプ駆動となり、生産性の大幅な向上を実現しています。

## ■ メンテナンスコスト 最大 20% 削減

### 電子化や部品の長寿命化により、メンテナンスコストを削減

作動油リターンフィルタの交換間隔の拡大や、エアフィルタの寿命を2倍にするなど、メンテナンスコストを最大20%削減※することに成功しました。  
※395と従来機390Fとの比較



## ■ 現場にフィットする豊富なワークツール

豊富なバケットラインアップに加え、碎石現場で活躍するブレード、クイックカブラ、リップなどをご用意。Catマシンのパフォーマンスが広がります。



Severe Duty/バケット 碎石・重掘削に最適です  
Extreme Duty/バケット 硬岩採掘に最適です  
リップ  
クイックカブラ  
マルチプロセッサ  
ブレード  
シャー



持っていますか?  
この資格

# 技能講習等修了証の再発行の話

クルマを運転するときには必ず自動車運転免許証を携帯する必要があるように、危険有害業務を行う作業員、または、その現場で指揮を執る作業主任者は、業務に就く際、必要な技能講習修了証を携帯しなければなりません。しかし、技能講習修了証は、自動車運転免許証と違って、定期的に更新する必要がないため、長い間、携帯しているうちに紛失したり、損傷してしまったりすることもあるでしょう。そこで今回は「技能講習等修了証の再発行」についてご説明します。

取得した技能講習修了証を紛失・損傷してしまった場合のほか、氏名の変更があった場合にも、再発行(書替)が必要です(住所や本籍記載の変更については不要)。

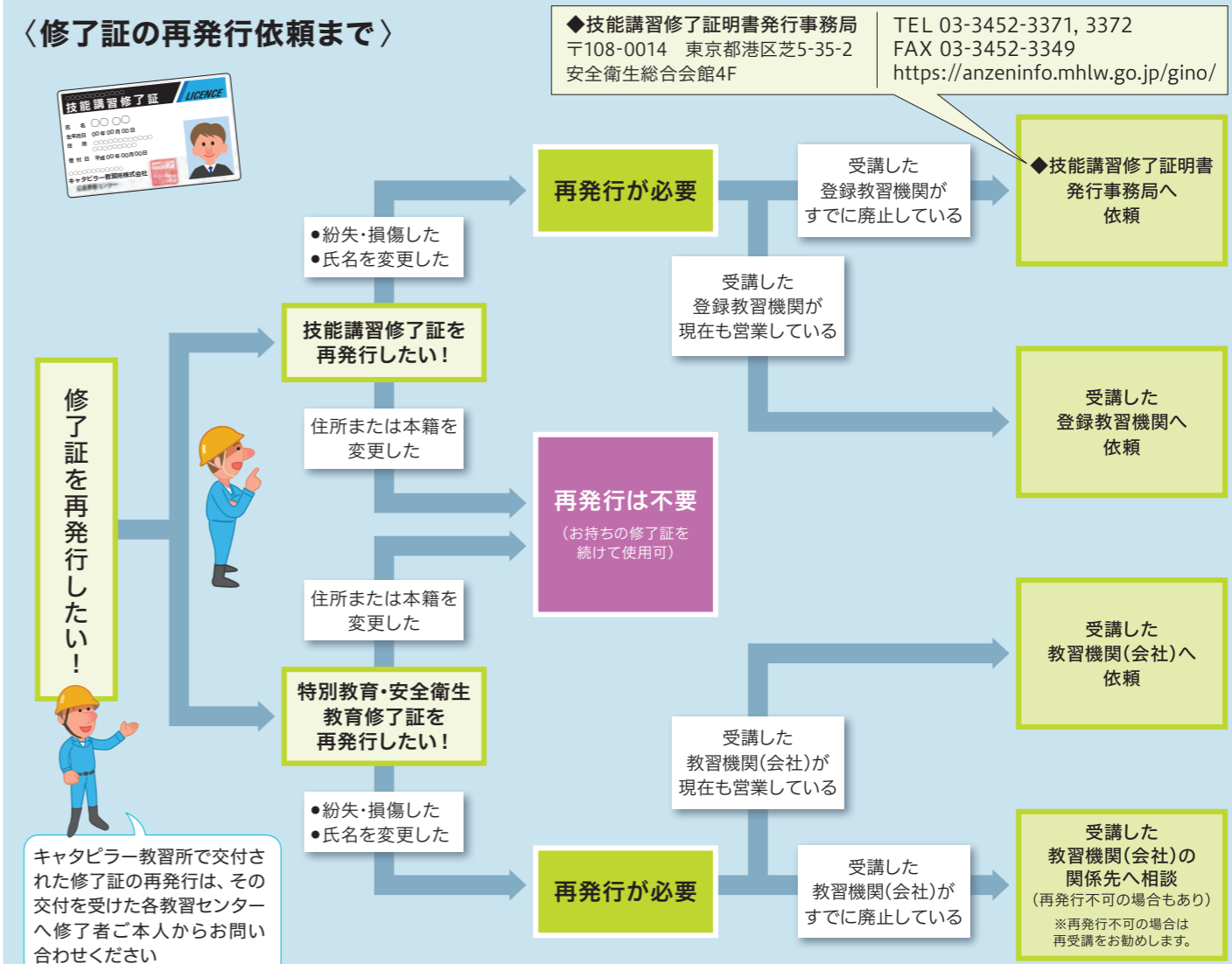
再発行は基本的に修了証の交付を受けた登録教習機関で行いますので、その登録教習機関に依頼してください。登録教習機関が同じ会社でも受講したセンター以外では再発行できません。もし、その登録教習機関が廃止されていた場合には、技能講習修了証明書発行事務局(以下、発行事務局 連絡先は下記◆)に再発行を依頼してください。

どこで受講して交付を受けたかを忘れてしまった場合も、発行事務局に開示請求をすることでわかる場合がありますので問い合わせてみましょう。

なお、「特別教育」や「安全衛生教育」の修了証の再発行は、交付を受けた教習機関(会社)のみで行え、発行事務局では再発行を受けることができません。

修了証の再発行依頼の流れは、以下のようになります。再発行を受ける際に参考にしてください。

## 〈修了証の再発行依頼まで〉



◆技能講習修了証明書発行事務局  
〒108-0014 東京都港区芝5-35-2  
安全衛生総合会館4F  
TEL 03-3452-3371, 3372  
FAX 03-3452-3349  
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/gino/>

◎クレーン運転士免許等の免許の再発行は各労働局へお問い合わせください。◎記載の教習機関には、登録教習機関が含まれる場合があります。

技能講習・安全教育のご用命はこちらまで / キャタピラー教習所株式会社  
本 社 : 〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-1  
TEL 0467-73-1221 FAX 0467-73-1211  
ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>  
詳細は [キャタピラー教習所](#) 検索





# 「新しい生活様式」での熱中症対策

マスクの着用は、「新しい生活様式」の基本とも言えるマナー。しかし、気温や湿度が高い中でマスクの着用は、熱中症のリスクを高めることになります。「新しい生活様式」を実践しながら、熱中症をしっかりと予防する行動のポイントを押えておきましょう。



「新しい生活様式」とは、COVID-19感染を防止するための習慣を日常生活に取り入れたライフスタイルのこと。すでに皆さんの現場でも、他の作業員との距離をしっかりと保つ、人前ではマスクは外さない、といったマナーを実践しているのではないのでしょうか。

しかし、温度や湿度が上がってくるこれからの季節に、マスクを着け続けていると、体に熱がこもる、気が付かないうちに脱水症状になるなど、熱中症を引き起こすリスクが高まるため、十分な注意が必要です。

## 〈感染防止の3つの基本〉

- 身体的距離の確保
- マスクの着用
- 手洗いの実施  
3密の回避  
(密集・密接・密閉)

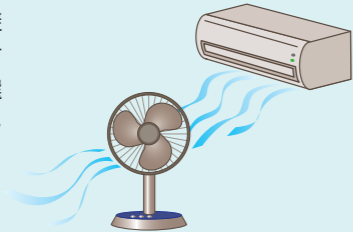


「新しい生活様式」の中で、熱中症を予防するために次のようなことに気を付けましょう

## 「新しい生活様式」での熱中症予防行動のポイント

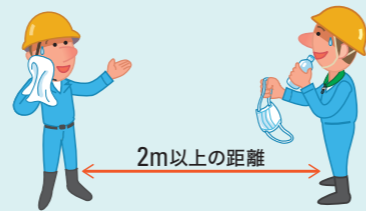
### 1 暑さを避けましょう

- 暑い日や時間帯は我慢しないでエアコンを使いましょう。
- エアコン使用中でも窓やドアを開け、換気扇や扇風機を活用して換気をしましょう。室温が高くなりすぎないようにエアコンの温度設定は少し低めに設定してこまめに調整を。
- 暑い時間帯の外出は避けるようにして、外出する際は、涼しい服装を選び、帽子や日傘を利用しましょう。



### 2 気温や湿度が高いときは適宜マスクを外しましょう

- 屋外で人と十分な距離(2m以上)を確保できる場合はマスクを外しましょう。
- マスクを着用しているときは、体に負担の掛かる作業や運動を避け、疲れを感じたら、周囲の人との距離を十分に取って、適宜マスクを外して休憩しましょう。



### 3 こまめに水分補給しましょう

- のどが渇かなくても、こまめに水分を摂るようにしましょう。1日当たり1.2ℓの摂取が目安です。外出前、帰宅時、運動開始前、運動中、運動後、入浴前後、就寝時、起床時、在宅勤務中など、ポイントごとに意識して水分補給しましょう。
- 大量に汗をかいたときは塩分補給も忘れずに。



### 4 日頃から体調管理と体づくりを心掛けましょう

- バランスの良い食事と十分な睡眠で、体調を整えましょう。
- 体温測定や健康チェックでコンディションを把握し、無理のない範囲で適度な運動(毎日30分程度)を行いましょう。
- 体調が悪いと感じたときは、無理をせずに自宅で療養しましょう。



COVID-19感染防止と熱中症対策を両立させて「新しい生活様式」の梅雨、そして夏を元気に乗り切りましょう!

## TOPICS

# CSPI-EXPO 2021に出展



次世代油圧ショベル315グレード3D仕様。



コンパクトトラックローダ259D3 with グレーダブレードGB124。



特別セミナーには多くの皆様にご参加いただきました。



会場に設置したCatコマンドステーションで米国アリゾナ州にある油圧ショベル320の遠隔操作をライブ実演。



屋外ブースで実演を行う次世代油圧ショベル315 with チルトローテータ。左右のチルトと360°旋回により、勾配のある現場などで車両が傾いた状態でも、任意の角度で作業が可能です。

キャタピラーは、2021年5月12日(水)～14日(金)に幕張メッセで開催された「建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO)」に出展しました。

2年ぶりの開催となる今回のテーマは、「次世代を担う、最先端技術が一室に」。キャタピラーは、次世代油圧ショベル315グレード3D仕様、整地用アタッチメントのグレーダブレードGB124を装着したコンパクトトラックローダをはじめとする最新機種を展示したほか、日本初公開となる長距離での遠隔操作を可能にするCatコマンドステーションのライブ実演を行いました。また、「デジタルプラットフォーム型建機が拓く自律施工の未来」(建機から建設現場のリモートワークを実現する)と題したCSPI主催の特別セミナーを行い、多くの来場者の関心を集めました。



## PRESENT ご愛読者プレゼント

「CAT CLUB No.112」のご意見、ご感想をお寄せください。抽選で3名様にCatグッズをプレゼントいたします。

次世代油圧ショベル320  
1/50 スケールモデル  
3名様

ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。

お届けの際、賞品の色などが見本と異なる場合がございますが、あらかじめご了承ください。



〈応募要領〉  
必要事項を記載いただき、下記メールアドレス宛にご応募ください。

- お名前 ■ご住所 ■連絡先のお電話番号 ■会社名
- 「CAT CLUB」へのご意見・ご感想

〈応募先アドレス〉 cat-club-japan@cat.com

〈応募締切〉 2021年9月3日(金)



ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。

<https://www.caterpillar.com/ja/legal-notice/dataprivacy.html>





2019 ディフェンディングチャンピオン  
浅井 咲希  
Saki Asai

# CAT Ladies GOLF TOURNAMENT HAKONE JAPAN 2021

CATERPILLAR®



**AUG. 20 FRI 21 SAT 22 SUN** 大箱根カントリークラブ

\* COVID-19感染症の発生状況により、開催内容が変更となる場合があります。  
\* ここに掲載されている写真は、COVID-19パンデミックの前に撮影されたものです。Caterpillarは安全を保つために、マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保などの措置に取り組んでいます。

キャタピラー [http://www.cat.com/ja\\_JP/](http://www.cat.com/ja_JP/)

CAT CLUB編集室 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1  
TEL.045-682-3424

CAT CLUBメールアドレス [cat-club-japan@cat.com](mailto:cat-club-japan@cat.com)

**CAT CLUB デジタル版も  
好評配信中!**



©2021 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、本書に記載されている企業および製品の識別情報と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真には、海外仕様の製品およびオプション装備品が含まれていることがあり、国内仕様と異なる場合があります。



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。  
用紙には適切に管理された森林で生産された木材を原料に含むFSC®認証用紙を使用しています。